

「災害時における一時避難場所等の提供に関する協定書」締結式にあたり

この度の、「災害時における一時避難場所等の提供に関する協定書」の締結にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

先ずは、亀田忠彦檀原市長をはじめ、危機管理室の皆さま、ご関係の市職員の皆さま方には、締結式に際し、各種ご調整を賜りましたこと、心より厚く御礼を申し上げます。

また、当社事業活動におきましても、日頃より多大なるご理解、ご配慮を賜っておりますこと、重ねて心より感謝を申し上げます。

さて、近年における全国各地での災害、本年元日には能登半島地震などの甚大なる震災も発生しており、いづどこでも起こり得る状況と申しましても過言ではない中（実際に昨年には当社前の曾我川が氾濫寸前まで増水したことがありましたが）、一企業としても地域社会にお役に立てることはないだろうか、貢献できることはないだろうかと考え、昨年、市の危機管理室へご相談し無事に締結することができました。

本協定におきましては、いざという有事において、事前の取り決めがない状態では、スムーズな協力・連携体制が取れず、結果として十分な貢献ができないということが懸念されましたので、災害時における体制の構築というものが当社としての一つの目標でありました。

ここに「災害時における一時避難場所等の提供に関する協定」が締結できたことは、亀田市長をはじめ危機管理室等ご関係の皆さまにおける檀原市の防災対策強化の取り組み結果の一つとなり、また、当社におきましても2030年に向けた経営ビジョン「人々に親しまれるヘルスケアカンパニーへ（Familiar With People）」にある経営方針の中にも「地域社会に必要とされる企業になろう」という項目に対する一つの成果でもあります。

一時避難場所としましては、当社創業者の名前を付けた又一記念球場、その横にあるクラブハウス、社員食堂、そして駐車場を提供させていただけることができ、それらの延床面積としましては合計で28,522㎡になるものです。なお、余談ではありますが、又一記念球場では、コロナ禍を除く例年の夏には、地域住民の皆さまへの日頃の感謝の気持ちを込めて納涼感謝祭を開催している場所でもあります。

今後の当社周辺地域のライフライン、安全確保のため大変意義深いものであると考えております。

当社としましては、いざという際にはそのご期待にお応えできるよう、組織内及び近隣地域の自治会などで本協定の連絡周知を行い、共同共助の意識の醸成を図るとともに皆さまのご理解とご協力も得ながら、引き続き地域社会に貢献して参る所存でございます。

今後とも防災に関わる意見交換を含め、より良い関係を構築し、災害時における地域住民の皆さま、そして当社社員の安全で安心な暮らしに寄与して参りたいと考えておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、本協定締結式にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和6年2月28日

佐藤薬品工業株式会社

代表取締役社長 佐藤 雅大